



せの喜代の 区議会ノート

せの街づくりだ!

2005・初春
第17号
新星クラブ

瀬野喜代 (みんなで街づくりをすすめる会代表) ホームページは、【せの喜代】で検索してください

子育て・介護・環境 市民参加で街づくり <http://senokiyo.sakura.ne.jp/>

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX : 03-3891-0203 E-mail : seno@mua.biglobe.ne.jp

災害に強い街づくりを

昨年は大型台風が多かったうえに、新潟中越地震、スマトラ沖地震・津波となんとも無残な災害がたて続けに起こりました。そして今年、阪神淡路大震災から10年。木造密集地域の多い、わが荒川区。あらためて自分の住む街の危険度を知り、自分達で、街を点検する作業を行いましょ。

せの喜代の一般質問 Q&A

(2004年第4回定例会)

Q 東京都の地域危険度測定調査が2002年12月に発表され、議会では報告されましたが、区民には公表されず、今日に至っています。何町何丁目ごと、町会ごとの詳細な危険度の周知が必要ではないでしょうか。住民自身が、自分の住んでいる街の何が危険かを知っておくのが、最も大切であると思いますが、区の認識をうかがいます。

A 区：今後はさまざまな機会をとらえて危険度を周知していく。

Q 避難場所・備蓄用品や地域コミュニケーションを考えたることが、防災意識を高めることにつながります。地震規模・季節・時刻別の避難シュミレーションを区民に知らせることはできないでしょうか。

A 区：都が被害状況を予測するコンピューターシステムを活用して周知していきたい。

☆一刻も早い、熱意ある対策を!

NPOまちづくりネットあらかわが「耐震」をお手伝いしています

NPOまちづくりネットは、建築土木関係や環境に関心のある区民による、専門的な知識をもった区民主体のまちづくりの担い手として、行政と区民の協働のまちづくりを期待されています。

グラッと地震がきたときに、荒川区の木造家屋が潰れてしまうことが何よりも心配。木造家屋のリフォームや耐震工事がしやすいような住宅ローン、減税なども行なわれています。区の補助も始まります。さまざまな情報を持っているNPOまちづくりネットにまずご相談を。

まちづくり会所

荒川5-32-5
電話/FAX : 3809-5990
月～金 12:30～4:00
水曜お休み
土・日 9:30～4:00



第1回定例会が始まります。

本会議 2月15日・17日 3月15日 (インターネット中継しています)
予算委員会 2月24日・28日 3月1日・3日・4日・8日・9日・10日 (24日のみケーブルテレビで放映)
総務区民・文教委員会 2月22日
保健福祉・建設環境委員会 2月23日

お早め
視聴を!

徹底的な収賄事件再発防止策を

せの喜代の一般質問



Q 区長・特別職・区議会議員・区民を対象とする包括的な政治倫理条例が必要ではないか。

A 議会で合意が得られれば実現にむけ努力したい。

☆ぜひ、議員提案で、包括的な政治倫理条例をつくりたいものです。自民党にはその気が無いのが残念です。尚志会は、助役問題についての調査の最終報告がでてから検討するとか・・・。

職員倫理マニュアルの明文化を」

ただの一般論ではなく、職員の服務規律として、利害関係者との禁止行為と許容範囲を具体的に示すことが必要です。



業者や補助金を受けている団体の区民と行の民主的な関係を築くためにもぜひ、具体的な倫理マニュアルを作っていただきたいと思います。

以下の区長の公約についても要望し、実現の見通しについて質問しました。
様々な角度からの収賄再発防止策をつくっていききたいものです。

公約

「内部通報制度の導入、働きかけの文書化等で恣意的な力が働き得ない制度づくり」

法を守り不正を許さない企業・行政の実現のために、内部告発しても保護されるような制度づくりが始まっています。職員が問題点を感じたときに、自分に不利益が及ぶことを心配せずに相談できることが必要です。

いままでの区役所は、自由にモノが言える雰囲気ではなかったと聞いています。今回の不祥事を機に、風通しのよい区役所を作っていただきたいと思います。

また、働きかけの文書化、すなわち、議員や各種団体、住民からの要望や問い合わせを文書化し、情報公開することは大きな意義があります。働きかけの文書化こそ、政策決定過程の透明性を高める情報公開の真髄とも言われるほどです。私たち議員は、個人の利益を求めるのではなく、区民全体の利益のために議員活動を行っています。是非、要望や問い合わせを文書化し公開する制度をつくっていただきたい。とかく何をしているかわからないといわれる議員活動を区民にみえる形にするためにも必要なことだと思います。



公約

「障がい児者、環境に配慮した透明性の高い公開調達制度の導入」

談合をなくすために電子入札を導入した自治体でも、なかなか談合がなくならないのが現実です。

それならば、入札を価格だけを基準とするのではなく、障がい者雇用や環境配慮、男女共同参画や公正な労働条件の視点など、自治体としての政策、方針を基準に盛り込むという「政策入札」の導入を検討していただきたいと思います。たとえば、大阪府や大阪市では、庁舎等の清掃管理業務を障がい者雇用率の高い事業者に委託しています。神奈川県は環境配慮の物品購入を始めています。

また、区長の公約「幅広い人材で構成する入札チェック組織」を専門家や公募委員で組織し、入札制度改革を検討する第三者機関として機能させ業務評価をおこない、政策入札の視点を検討するような位置づけにしていきたいと思います。



荒川区の産業活性化にはやる気のある人材育成を



Q 荒川区として、今、必要な産業政策は、いままでのこの荒川区にあるものづくりの様々な技術者・職人を集団化し、地元教育機関のみならず、教育研究開発機関の援助を得て、やる気のあるキーパーソンをつくりだし、一步を踏み出すことだと思います。すばらしい講師陣をまねいて講座を行っても、その後の継続性がなければ、知的財産の蓄積にはならず、ネットワークも広がりません。

長く下請けで甘んじていた中小零細企業が、独自製品を生み出すことが必要です。荒川区でいえば、自転車産業に関連した様々な技術の集積あるいは医療器具等の製作技術を、福祉機器関連の新事業に活用し、これからの超高齢時代に対応することなどが考えられます。おしゃれで機能的な車椅子や、歩行補助器具、生活補助器具などの製作に利用者ひとりひとりのどのようなニーズにも応じられる専門家集団の育成などに期待します。

A 経営塾など継続性がなかったのは指摘のとおり。継続していくことが大事。

高齢者・障がい者の生きがいづくりと就労の応援を

Q 働くこと、社会の中で誰かに必要とされていること、自己表現できる場があることは人にとって、生きがいです。とりわけ高齢者・障がい者の就労が困難な現在、事業主としての区役所が、すべての課で関連する事業の中で高齢者・障がい者の活用策を検討し、雇用の拡大を図れないでしょうか。

A NPOやシルバー人材センターと連携を強め、より一層積極的に支援したい。

NPO、ボランティアの支援を

Q 高齢者障害者の生きがいづくり、就労、生活の場づくりに関する多くのNPO、ボランティアが区内でも現に活動しています。今までNPO支援として打ち出されたのは立ち上げの費用5万円の補助でしたが、最大の希望は活動場所の確保です。行政にすべてをお願いするのではなく、自らの力で社会貢献のために活動を始めているNPOやボランティアの意義を確認して区として支援に取り組むべきではないでしょうか。

A より一層の連携をめざしていく。

介護保険事業者の実態調査と情報公開が重要

Q 介護保険事業者の質の向上のために、実態調査と情報公開が果たす役割は非常に大きいと考えます。

ぜひ、介護労働者の労働条件や介護予防の取り組み、日常動作機能の回復・維持についても調査項目に入れていただきたいと思います。区民参加で調査項目を考え、調査を実施し、情報公開を行うことで、区民の意識が高まり、介護事業者にとっては、区民の目を意識することで介護サービスの質の向上につながるはずです。

実態調査はいつごろどのような形で実施されるのでしょうか。

A 来年度実施の基礎調査にあわせて実態調査を行う。具体的な内容は検討中。

～ 本会議での討論から ～

ふれあい館利用者の声を把握することが必要

ふれあい館は指定管理者によって運営されます（契約は3年間）。実際に行われている業務の評価を行い、区民に公開することが必要です。業務評価に際しては、利用者の声を反映する仕組みづくりを要望します



小中学校の禁煙教育



完全禁煙（敷地内禁煙）は、荒川区立小中学校
33校のうちの5校（二瑞小・六瑞小・二日小・三日小・六日小）のみ

昨年の健康増進法の施行により荒川区でも取り組み始めた、学校での敷地内禁煙。WHO（世界保健機構）のタバコ規制枠組み条約が今年2月27日より発効し、世界はさらに禁煙に向かっている。
禁煙教育には、大人が模範を示すことが一番。せめて、「学校の敷地内ではタバコは吸わない」ぐらいのマナーは必要と思いますが、地域の皆様、いかがでしょうか。

リサイクルショップ&便利屋さん

「あうん」

東日暮里 2-14-9 TEL/FAX: 5604-0873



景気がよくなったと言うものの、厳しい経済情勢の中、全国で約3万人が住む場所を失い、野宿者(ホームレス)となっています。

「働きたくても仕事がない」という人が、仕事づくりをめざして、リサイクルショップと便利屋を東日暮里で始めています。当事者と地域のお客様とのささやかな交流の拠点ともなっています。

今までの仕事の経験をいかして、チラシ配りから、引越し、家電リサイクル販売、家財道具処分、リフォーム、大掃除、通訳、事務代行などなど、まさに、なんでもありの「便利屋」さんです。ぜひご利用ください。

荒川国際平和展2005

『戦後60年』今改めて平和を問う

○ 3月5日(土) 6日(日) 午前11時～午後5時 入場無料
写真展 「原爆と人間」「原爆の図」・東京大空襲・尾久初空襲
ムーブ町屋 4階ギャラリー

○ 3月5日(土) 午後1時 ムーブ町屋 4階ギャラリー
朝鮮民族舞踊(東京朝鮮第一初中級学校)
エイサーと沖縄からの報告

○ 3月6日(日) 午後1時 ムーブ町屋 4階ギャラリー
区民平和音楽祭 みんなでうたおう&戦争体験を語り継ぐ
風見鶏 ライブグループ 他

ご参加ください!



講演師 神田香織

講演「はだしのゲン」
9歳の少年ゲンがみた広島の実境

3月4日(金) 午後7時
ムーブ町屋3階ホール
協力券1,000円

編集後記

- スマトラ沖地震の被害者が30万人といわれる。救援物資の届かない地域もあるという。「このままでは死ぬ」という声が報道されている。なんとかならないか。せめて、救援カンパを。
- NHK従軍慰安婦番組への政治介入。過去の戦争の事実を認めず、国際社会の戦争責任を問う声に背を向けた自民党の若手2世議員に日本の将来をまかせることはできない。